

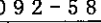
ボーリング柱状図

調 査 名 市道屋形原1757号地質調査委託

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 3		調査位置		福岡県福岡市屋形原1, 4丁目地内					北緯	33° 32' 10.25968"					
発注機関	福岡市南区役所地域整備課					調査期間	平成 25年 8月 22日 ~ 25年 11月 19日					東経	130° 24' 28.89310"			
調査業者名	(株) アイ・デベロップ・コンサルタンツ 電話 (092-581-1732)		主任技師		一ノ間 義夫		現代 代理人	松岡 稔	コ 鑑 定 者	ア 松岡 稔	ボーリング 責任者	伊藤 誠一				
孔口標高	29.16m	角			方			地盤勾配		使用機種	試錐機	東邦製 D0-D		ハンマー 落下用具	半自動型	
総掘進長	13.00m	度			向			配		エンジン	ヤンマー製 NFD10-k		ポンプ	東邦製 BG-3C		

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	標 準 貫 入 試 験					原 位 置 試 験		試 料 採 取		室 内 試 験 (月 日)	掘 進 月 日				
											深 度 (m)	10cmごとの 打 撃 回 数			打 撃 回 数 ／ 貫 入 量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 お よ び 結 果	深 度 (m)			試 料 番 号	採 取 方 法		
												0 〜 10	10 〜 20	20 〜 30											
1	28.66	0.50	0.50		盛土・ 礫質土	黒灰 暗灰			舗装土で、0.20m付近までアスファルト。0.20～0.50m間は碎石で砂礫状。礫分は径5～50mmの角礫状岩片。砂分は中粒～粗粒砂。																
2					盛土・粘土質砂	灰褐 褐			砂、粘土分を主に砂分をやや多く含む。マサ土質。コアは土棒状をなし、やや強い～強い指圧で凹む～崩れる。砂分は細粒～中粒砂。径5mm程度の礫分を少量含む。植物根混入。0.50～0.80m間、1.60～2.00m間、砂分主体。2.00mまで試験。	10/4 3.40	2.15	1/35		1/35	1										
3											3.15	1/35		1/35	1										
4	24.51	4.15	4.65								3.50														
5					盛土・礫混り砂質粘土	暗灰			概ね均質。粘土、砂分を主に粘土分をやや多く含む。礫分混じる。硬く、締まっている。コアは土棒状をなし、強い指圧で凹む。砂分は中粒～粗粒砂。礫分は径5mm以下の細礫で、混入率5%程度。植物根混入。		4.15	1/35		1/35	1										
6											4.50														
7	21.76	2.75	7.40								5.15	1/35		1/35	1										
8	21.51	0.25	7.65		砂質粘土	黒褐 灰			粘土、砂分を主に砂分をやや多く含む。含水し、軟らかい。砂分は細粒～粗粒砂で石英粒混じる。腐植物片、炭質物片を含み、有機質。旧表土状。		5.50														
9	20.26	1.25	8.90						粗粒砂に、細粒～中粒砂、固結したシルト～粘土をはさみ、成層をなす。コアは概ね土棒状をなし、普通程度～やや強い指圧で崩れる。粗粒砂は石英粒主体で淘汰されている。8.65～8.70m間、8.85～8.90m間、固結シルト～固結粘土。8.75～8.90m間、粘土分混じる。		6.15	1/35		1/35	1										
10	19.16	1.10	10.00		砂	淡褐 灰 褐 灰			花崗岩のマサ状強風化部。原岩組織明瞭。強く風化をうけ、岩芯まで褐色軟質化。コア形を保つが、やや強い指圧で崩れ、砂状となる。造岩鉱物の長石は白濁し、指間で擦るとシルト状に潰れる。コアはシルト混り砂状をなす。砂分は細粒砂を主に石英粒の粗粒砂混じる。		6.50														
11											7.15	1	1	2	4/30	4									
12					強風化花崗岩	淡灰 褐					7.45														
13	16.16	3.00	13.00								8.15	6	7	4	17/30	17									
14											8.45														
15											9.15	9	12	16	37/30	37									
16											9.45														
17											10.15	12	18	20/8	50/28	54									
18											10.43														
19											11.15	11	18	21/9	50/29	52									
20					風化花崗岩	淡灰 褐 淡 灰			花崗岩の風化部。原岩組織明瞭。固結度高まり、N>50を示す。コアは半固結～固結砂状をなし、やや強い～強い指圧で細礫混り砂状に崩れる。砂分は細粒～粗粒砂状で、粗粒砂、細礫分は石英粒。造岩鉱物の長石は軟質で、指間で擦るとシルト状となる。12.50～13.00m間、高角度で傾斜する変質脈分布。変質脈は幅1cm以下で、乳白～淡黄灰色を呈し、軟らかいシルト状。		11.44														
											12.15	15	21	14/4	50/24	63									
											12.39														
											13.15	22	28		50/19	79									
											13.34														